

世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和4年 6月13日
第 17 号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

SST (4)

シミュレーション法

三重県教育委員会の資料より

「今、ここ」の場面でなく、別の場面を想定し、その場での適切なソーシャル・スキルについて考える機会を与えることで、スキルのレパートリーを増やす方法（主として次の2つ）

1 ソーシャル・ストーリー

ある場面でのソーシャルな手掛けりや考え方、望ましい対応を明確・端的に説明
5W1Hを視覚的に伝え、目に見えないルールや対人関係を文章にし、見える化

2 SSTカード

場面状況認知を学ぶための「身近な問題行動にかかる場面」を絵にしたカード
「場面・状況にふさわしい行動」「相手も気持ち」を学習

ソーシャル・ストーリーの例（本人に繰り返し読ませる、学級の共有も有効、箇条書きが基本）

例1 自分のするいたずらは許せるが、他人からのいたずらを許せない生徒に

- ・友だちのいたずらには、やさしく注意します。
- ・授業中は先生の指示を守り勉強します。
- ・ほとんどは黒板を使っての勉強が多いです。
- ・多くの人は黒板に集中していますが、たまには勉強以外のことを考えている人もいます。
- ・僕はいたずらをしたいと考えことがあります。
- ・僕のまわりにも、いたずらをしてしまう人がいます。
- ・そんな時は、授業のじやまにならないように、小さい声で注意します。
- ・僕は、いたずらは「いじわるな心ではない」ので許してあげます。
- ・僕も授業中は「いたずら」をやめます。

例2 調理実習の約束

- ・今日作るのは、お好み焼きです。
- ・友だちと協力して、楽しく、おいしく作ります。
- ・火を使うときは落ち着いて行動しましょう。
- ・熱い物を運ぶ時は、「フライパンをもって動きます、良いですか？」とみんなに声をかけ、みんなが「いいよ」「わかった」と答えてから行動します。
- ・また、運ぶところまで誰もいないか、置く場所があるかを確認してから運びます。
- ・包丁を使うときは、持ち方、食材に添える手の置き方の約束を守ります。
- ・もし、けがをしたときは、あわてず落ち着いて先生に言いましょう。
- ・おいしく食べた後は、片づけをします。
- ・使った道具をきれいに洗って、ふいてから、元あつたところに戻します。
- ・自分の仕事が終わったら、ほかの友だちの手伝いをします。
- ・すべての片づけが終わったら、先生を呼びます。
- ・そんな作業も協力してすることが大切です。
- ・みんなで力を合わせて作れば、おいしいごちそうが完成します。

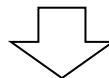
例3 バスでの校外学習の約束

- ・今回の校外学習はバスに乗って出かけます。
 - ・バスでは自分の決められた席に座って、シートベルトをしめます。安全のためです。
 - ・バスの中では、楽しく過ごせるよう心がけます。
 - ・近くの人とおしゃべりするのもいいし、疲れている人は眠ってもいいです。
 - ・おしゃべりするときは、自分も相手も楽しくなる話題を選びます。
 - ・眠っている人がいたら、話しかけずにそっとしておきましょう。それが思いやりです。
 - ・施設はいろいろな人が利用します。施設についてたら静かに話すようにします。
 - ・施設の中では、施設の方の言うことをよく聞くことが大事です。
 - ・施設の方に何か尋ねたり説明してもらったら、きちんとあいさつします。それが礼儀です。
 - ・活動中に困ったことが起きたら、先生に相談しましょう。
 - ・自分の近くに困っている人がいたら「どうしたの」と声をかけます。
- * 困ったときは、お互いに助け合うものです。

行事なら・・・

教員（担任・副担任）として大切にしたいこと

- * 自主・自律 … 「自分たちで取り組む」
- * 協働・共生 … 「他者への思いやりと配慮を大切にして、みんなで頑張る」
- * 創造・挑戦 … 「苦手でも、うまくいかなくてもチャレンジする」



生徒への意識付けが大事！！！

- * 口頭・学級通信 → 生徒に先生の「思い」を伝える
その行事だけでなく、今後の行事まで継続するイメージ
- * 話し合い活動 → 生徒の自主的な行事の目標作り・作戦会議
- * 学年・学級通信 → 保護者に先生の「意識」を伝える
「生徒のフォロー」を依頼（学級通信でも）

社会性に支援の必要な生徒（のいる学級）に、どんなソーシャル・ストーリーを与えて、学級全体の意識づけをしますか？

注意が必要なこと SST と 道徳教育（道徳的な視点）⇒ MOSTの重要性

ソーシャル・スキルを高めることは必要だが、それだけでは不十分！！

詐欺行為：ソーシャル・スキルは高い、心情に寄り添い弱点を見つけ、そのスキに付け込む

陰湿イジメ：「無視してごめん」と謝り、2・3日仲良くしてまた無視、これを繰り返す

相手が一層傷つくと理解しているからこそする

だから……道徳的なスキルのトレーニング（モラル・スキル・トレーニング[MOST]）も必要

ソーシャル・スキルは道徳的とは限らない、MOSTや道徳的な視点が必要である